



2026年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社ウイルプラスホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 成瀬 隆 章
コード番号 3538 東証スタンダード
問 合 せ 先 取締役 専務執行役員 宇田川 宙
電 話 番 号 03-5730-0589

2026年6月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年5月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年2025年8月14日の2025年6月期決算発表時に開示した2026年6月期（2025年7月1日～2026年6月30日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2025年7月1日～2026年6月30日）（単位：百万円）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	92,160	2,328	2,244	1,305	143.62
今回修正予想（B）	92,160	1,400	1,427	1,123	123.60
増減額（B－A）	0	▲927	▲817	▲181	-
増減率（％）	0	▲39.9	▲36.4	▲13.9	-
（参考）前期連結実績 （2025年6月期）	88,614	1,849	1,897	1,443	158.43

2. 修正の理由

今回の業績予想の修正の主な要因は、輸入車ディーラー事業における収益の悪化であります。

近年の円安進行に伴う車両価格の上昇に加え、海外メーカーによる急速な電動化（EV化）の推進が進む一方で、日本においてはEVの普及が先進国の中で相対的に遅れております。この結果、国内市場において製品ラインナップのミスマッチが生じ、一部顧客の購買離れが発生しております。これらの影響により、国内の輸入車市場はリーマンショック以降で最低水準に低迷しております。

このような厳しい市場環境の下、当社の輸入車ディーラー事業においてもその影響を大きく受け、新車販売は低調に推移いたしました。一方で中古車販売に注力した結果、売上高は増加したものの、収益性は低下いたしました。

加えて、国内輸入車市場が低迷する中であって、M&A の成約件数は当初の想定を大きく上回るペースで進捗しておりますが、それに伴うデューデリジェンス費用や人材採用費等の先行投資が増加しております。また、当期に新たに連結対象となった店舗の一部が赤字で推移していることも、業績を押し下げる要因となっております。

以上の結果、当初公表しておりました業績予想を下回る見込みとなったため、業績予想の修正を行うものであります。

3. 配当予想について

当社は、中長期的な株主還元方針に基づき、安定的な配当の維持を目指しております。今回の業績予想修正後においても、適正な自己資本水準を維持できる見込みであることから、1株当たり配当予想につきましては据え置く予定であります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上